

「花と緑のまちづくり」継続のポイント

「人」

まちづくりは「人」づくり。市民の皆さんが主役となり取り組むことで、地域やまち全体に活力が生まれます。

「暮らし」

人が住み続けるためには、活力の源となる産業の活性化が必要です。今ある地域資源を最大限に活用し、「花と緑のまちづくり」を進めることで白石の新しい魅力を作り出し、活性化につなげていきます。

「環境」

白石の美しい自然や景観を地域の宝として受け継ぎ、心癒されるまちづくりを目指します。



形のないものを大切に。

小さな声、小さなアイデアをまちづくりに活かしていきます

これからの白石のまちづくりを
一緒に考えてみませんか。

～あなたの参加をお待ちしています～



事業の企画をしてみたい方

「アイデアを形にしたい!」という方を募集します。これからの事業計画を企画・立案・実践する会のメンバーになってみませんか?

どんなアイデアを具体化し、実現に結び付けていくか、会のメンバーと一緒に考えていきましょう。

●会の概要 会員は20人程度で、5月ごろに発足を予定しています(月1～2回程度開催)。

●申し込み 「花と緑のまちづくり参加希望」という件名で、名前、住所、電話番号を明記し、企画情報課までご連絡ください(電話・FAX・メール可)。

●応募締切 4月30日(水)

企画や活動は難しいけれど アイデアや情報をお持ちの方

次のアイデアや情報をお寄せください。お寄せいただいたアイデアなどは会で検討していきます。

- ①「花と緑」を素材に、「まちや地域がこうなったらいいな」というアイデア
- ②「この場所のコスモスがきれいだよ!」といった、花や緑のスポットやそれが見られる時期など

●応募締切 4月30日(水)

●応募方法 企画情報課までご連絡ください(電話・FAX・メール可)。

広報しろいし4月号から連載をスタート!

自宅などで花づくりを楽しんでいる方や花と緑で地域づくりに取り組んでいる方々を紹介します。皆さんからの情報をお待ちしています。

白石に住む人・訪れる人にとって「心安らげるまち」になるように...

花と緑のまちづくり

本市ではこれまで、白石城や城下町などの歴史的資源を活かしながらまちの魅力を発信してきました。しかし、白石に縁がなかった人を呼び込むためには、「交流拠点都市・白石」として市内をより一層活性化させるため、新しい魅力を育てていく必要があります。そこで、身近にある豊かな自然を活かす『花と緑』をコンセプトに、これからのまちづくりを進めます。

企画情報課 企画係 ☎22-1324 ☎22-1451 kikaku@city.shiroishi.miyagi.jp

花と緑のまちづくり

次の5つの方針で進めます。

市民・企業・市の協働で進めます
自主的な活動を尊重し、企画・立案の段階から協力して、白石のまちづくりを進めます。

白石の美しい景観と風土を活かします

第五次総合計画を作る時に行った自治体アンケートやワークショップなどで出た「今ある地域資源を活用してほしい」との声に応えます。

生活を彩る緑を増やします

自宅の庭や軒先など、身近なところで花や緑を増やす活動などを推進します。

将来につなげる活動をします

皆さんの手で新たに生み出された白石の魅力を、20年後、30年後の次世代につなげる活動を展開します。

「なりわい」に結びつけます

花と緑によるおもてなしや、産業と結びつける仕組みを作ります。

重点エリア

観光客の皆さんに、効果的に白石をPRするため、次のエリアを重点エリアに設定します。

- 玄関口 白石蔵王駅周辺
- 拠点公園 益岡公園、スパッシュランドパーク
- 白石らしい歴史的景観資源 白石城周辺、白石駅周辺、中心市街地周辺
- 住宅地 鷹巣地区

※重点エリア以外の地域は、地域の皆さんの考えに沿って進めます。

皆さんの思いを実現

今までに行ってきた数多くの市の事業は、行政主導のものが多く、「もっとこうすれば」「自分ならこうする」と感じている方も少なくなかったのではないのでしょうか。

「花と緑のまちづくり」は、計画づくりから市民の皆さんと一緒に取り組みます。

白石に住む人や訪れる人にとって『心安らげるまち』になるためには、皆さんの視点や情熱が必要です。白石を訪れる人たちが好きになってくれる人たちが増えるよう、これからの白石のまちづくりに皆さんのアイデアと力をお貸しください。